

# 南会津 のうりんニュース

平成16年9月 (第76号)

今月の写真：「そば畑」(下郷町)

猿楽台地のそば畑です。8月末から9月上旬にかけて、あたかも地面に大きな白い布を広げたような風景が見られます。雑誌のそば特集で見開きで紹介されたこともあるなど、写真愛好家の間では有名な撮影スポットとなっています。

今月の内容：

●今月のトピックス

- ・アグリビジネスは「もてなしの心」で
- ・親子ふれあい体験教室

ほか

●特集！

お米特集(第2回)「環境にやさしく・売れる米づくり」

●南会津の木のはなし

鹿島神社のトチノキ(館岩村)

●農林事務所からお知らせ

「まるごと南会津地産地消フェスティバル2004」を開催します！

平成16年9月10日発行 福島県南会津農林事務所

## 今月のトピックス



### ● アグリビジネスは 「もてなしの心」で

△ 津や南会津は日本一、グリーン・ツーリズムにふさわしい場所です。東京から近すぎず、遠すぎずという距離、豊かな自然、それと何よりもそこに暮らす「人」という資源があるからです。

去る8月25日に下郷ふれあいセンターで、県庁担い手育成グループによる「うつくしまアグリビジネス高度化推進事業」講演会が開催されました。その中で東洋大学社会学部・青木教授は、「グリーン・ツーリズムの発展とアグリビジネスについて」というテーマで講演を行い、冒頭のようなお話がありました。

講演ではまた、グリーン・ツーリズムや直売所のようなアグリビジネスは、生産者と消費者の「対等なお付き合い」を目指すものであることや、一戸の農家が儲けるのではなく「地域づくり」として取り組むものであることから、「もてなしの心」がある会津や南会

津でこそ積極的に進めてもらいたいとの話がありました。

講演会の後には引き続き青木先生を交えて、県内7ヶ所(南会津では下郷町)で行われている同事業の推進検討会を開催し、各地の事例発表や活発な意見交換が行われました。

ところで、南会津グリーン・ツーリズム推進会議(事務局：JA会津みなみ、南会津農林事務所)では今年、南会津郡全体で連携してグリーン・ツーリズムに取り組んでいくことができるよう、様々な事業に取り組んでいるところですが、この日は講演会に先立ち幹事会を開催し、モニターツアーの実施やPR用のガイドブックの作成などについて様々な検討を行いました。

(地域農林企画室、農業普及部)

### ● 親子ふれあい体験教室



地域の食文化や地域産物を活用した食生活を見直していただこうと、去る8月29日に「親子ふれあい」(2ページに続く)





(前ページ写真)  
しんごろう作り  
(上写真)  
南郷トマトもぎとり体験

(1ページから続く)  
体験教室 ～見よう食べよう南会津～を開催しました。

当日は、田島町・下郷町の小学生以下の子どもとその親9組(21名)が参加しました。

体験教室では、郷土料理教室(つゆじとしんごろう作り)、木地(木製椀)製作実演見学、南郷トマト選果場施設見学、農業体験(トマトのもぎ取り体験)などを行い、昼食は、参加者全員で手

作りしたつゆじとしんごろうを食べました。

参加者は、南郷トマト選果場の見学で、選果場の特徴である雪室[ゆきむろ](トマトの鮮度を保つために雪を利用して冷気を作り出す部屋)や糖度を調べることができるセンサーなどに大変興味を示していました。またトマトのもぎ取り体験では、自分の手でもぎ取った、取りたての新鮮でおいしい南郷トマトを食べ、普段あまり体験できない夏休み後のちょっとした思い出づくりができました。

伝承料理や地域農産物のことが理解できたこの体験教室をきっかけに、これから健全で安心できる食生活を実践していきたいですね。

(地域農林企画室)

## 「緑のボランティア in TATEIWA」



近年、南会津地方でも多くなってきた林業体験学習の先駆けとも言える「緑のボランティア in TATEIWA」が、8月18日から20日の3日間、館岩村木賊にある「さいたま市立館岩少年自然の家」において行われました。これは、さいたま市教育委員会(旧大宮市)が主催となり、同市に在住している中学生を対象として参加者を募集し行っているもので、主な活動として昭和59年の参加者により造成された「体験の森」の手入れを継続して行っており、今年で21回目となります。

8月19日には、南会津農林事務所職員による「森林を育てる」をテーマとした話を聞いた後、館岩村森林

組合職員の指導のもと間伐や枝打、チェーンソーによる丸太伐りを体験しました。

台風が多いこの時期にも関わらず青空が広がり、時折爽やかな風が吹く中、41名の参加者は3mもある梯子での作業をものともせず、楽しそうに枝打ちをしたり、初めて握るチェーンソーに興味津々で競って体験をしたり、充実した汗を流していました。



(森林林業部)

## 「(独)農林水産消費技術センターから研修生が訪れました。」



南郷トマト生産組合では、独立行政法人 農林水産消費技術センター(以下消費技術センター)の職員9名を平成16年8月23日から9月1日までの10日間、トマト栽培の研修生として受入れました。

今回、研修生を派遣した消費技術センターは、消費者へ食の安全・安心に関する情報提供や消費者、生産者、事業者など関係者との意見交換による意見・要望等の行政施策への反映を行う機関です。

本研修では、各研修生が農家へ宿泊し、農家と同様の生活時間、農作業を体験しました。トマト農家の一日は、朝の収穫作業に始まり、夕方までの管理作業と、非常に骨が折れる作業が続きます。

研修のなか日には、南会津地方の文化、伝統を学習してもらうため、下郷村の大内宿、南郷村の歴史資料館等を視察しました。

普段の業務において消費者との関わりが深い研修生の皆様には、本研修で培った生産者の視点から今後の業務の参考になったことと思います。



(農業普及部)



★ 特集！

# お米特集(第2回) 「環境にやさしく・ 売れる米づくり」

(農業普及部)

## 【米余りの時代にどんな米が売れるの】

米の消費量は、平成16年6月の1人1ヵ月当たり4.8kgとなり、前年同月と比べ1.3%減少し消費減退が進んでいます。この状況ですと、平成16年も年間1人当たり60kgを下回ると見込まれます。また、消費者が米を購入する際には①おいしさ64%、②価格42%、③産地や品種(ブランド)36%、④安全性26%の順に意識して選んでいます。(H13消費者動向等に関する調査結果)。平成13年の調査では安全性が4人に1人の割合でしたが、それ以降、偽装表示や無登録農薬などの問題が生じ、現在では消費者の安全性に関する意識は非常に高まっています。

さて、生産現場から考えると①「安心・安全=責任のある栽培」、②「良食味=適切な栽培」、③「低価格=無駄な経費をかけない栽培」が「売れる米」を生産する大前提となります。

## 【環境にやさしい農業とは】

農業は、生産者の手間と水、太陽、そして土から、農産物を生産し、食料供給と生活の潤い(花など)を届ける産業です。しかし、無駄な農薬の散布や過



剰な肥料の使用によって自然環境(水や土)に余計な負担をかけ、場合によっては破壊を招くことさえあります。

今、「安全・安心」な農産物を消費者に届けるために、農薬や化学肥料の使用回数・量を減らし環境に負担の少ない栽培が注目されています。特に、全く化学肥料や農薬を使用しない「有機栽培」や慣行使用基準(県策定)の5割以上削減した「特別栽培」が年々増加しています。しかし、残念ながらその生産量はわずかなため、大都市部で消費され、地元ではほとんど購入することはできません。

また、県内でも土づくりと慣行使用基準の2割以上を削減したエコファーマーによる栽培も増加しています。

## 【南会津地方の取り組み】

JA会津みなみでは、本年から特別栽培「あきたこまち」の生産を本格的に開始しました。この取り組みやエコファーマーによる栽培を南会津地方の「売れる米づくり」の大黒柱となるよう稲作農家のみなさんと関係機関が一緒になり進めていきたいと思えます。

## 南会津の木のはなし

# 鹿島神社のトチノキ

(館岩村農林建設課)

館岩村井桁の鹿島神社には、館岩村ではもうここでしか見れないトチノキの大木が境内にそびえたっています。樹齢500年と推定されており、幹周りが6メートルもあり、根元には稲荷様の祠が祀っています。

6月の初めには、真っ白なトチノキの花が咲き誇り、境内を埋め尽くします。最近までは村人は秋にその実を拾い、栃餅をついて、神にお供えをして五穀豊穡を願ったといいます。

この鹿島神社のトチノキは、昭和58年に県の緑の文化財に登録されています。





# 「まるごと南会津地産地消フェスティバル2004」を開催します！

～南会津農林事務所では「南会津木材フェア」を開催！～

(地域農林企画室)

南会津地方には豊かな自然や観光資源、産物などの優れたモノが数多くあります。

最近耳にするようになってきた「地産地消」という言葉は、「地」域で「産」み出されるモノ（農林水産物だけでなく、工業製品や観光資源なども）を「地」域で「消」費しようという考え方を表すものです。

県では、南会津地方の優れた資源の魅力を再発見するために各町村やJA、商工会などの各種団体と一緒に、9月18日(土)、19日(日)の両日、御蔵入交流館(田島町)で「まるごと南会津地産地消フェスティバル2004」を開催します(※右の写真をご覧下さい)。

このフェスティバルにおいて、南会津農林事務所では「南会津木材フェア」を開催します。以下のようなイベントを用意してお待ちしておりますので、ぜひご参加ください。

### ■南会津木材フェア 実施イベント

#### 【展示・実演コーナー】

- ・こね鉢作り実演・・・職人がそば打ち用のこね鉢を作ります。
- ・大工さんのお仕事・・・大工さんの仕事の技を披露します。
- ・原木展示

知れば知るほど「南会津」ワクワクいも再発見!

## まるごと南会津地産地消フェスティバル2004

平成16年 **9月18日(土)～19日(日)** **入場無料**

御蔵入交流館 (田島町) 開場 **10:00～16:00**

88回南会津交流ステージ

楽しいイベント盛りだくさん!

「まるごと南会津地産地消」の理念を「COPEL」のロゴで表現しています。自然の恵みを生かして、自然環境を守りながら、心豊かな暮らしを実現していきます。

まるごと南会津汁(餃子の汁)無料配布や地産地消品大抽選会も行われるよ!

### 【体験・遊びのコーナー】

- ・木の車レース・・・自分で作った木の車でカーレース!
- ・木のおもちゃで遊ぶ・・・木のおもちゃにふれて下さい。
- ・コマづくり体験・・・自作のコマで遊びましょう!
- ・カンナかけコンテスト・・・どれくらい長く引けますか?
- ・ウッドチッププール・・・チップのプールで遊んでください。
- ・日曜大工教室

## ～研修会・講習会等お知らせ～



内 容	月 日	場 所
①わくわく親子農産加工体験	10月2日(土)	農業短期大学校(矢吹町)
②米粉の加工	10月21日(木)	農業短期大学校(矢吹町)
③マネジメントゲームで学ぶ農業経営管理	10月26日(火)～27日(水)	農業短期大学校(矢吹町)

※お申込み・お問合せ先：南会津農林事務所 地域農林企画室 0241-62-5866 / 農業普及部 0241-62-5262

**お問い合わせ先はこちら**

〒967-0004  
 福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1  
 南会津農林事務所 地域農林企画室  
 電話 0241-62-5866 FAX 0241-62-5256  
 電子メール minamiaizu.nourin@pref.hukushima.jp  
 ホームページ http://www.aff.pref.fukushima.jp/minamiaizu/



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。

**R100** PRINTED WITH SOY INK™

占紙配合率100%再生紙を使用しています。  
 この広報紙は古紙配合率100%再生紙とSOY(大豆油)インキを使用しています。